

展示 PICK UP

3Fエレベーターホール+ガラスケース ~12/25(金)

1階特別展「荒俣宏の大大マンガラクタ館」関連図書展示 「荒俣宏が描いた帝都・東京」

荒俣宏の代表作『帝都物語』の世界観を日比谷の蔵書から読み解きます。登場人物のほか、作中で描かれている明治から昭和にかけて移り変わる帝都・東京に注目します。また、昭和2年の日比谷を舞台に二宮金次郎像が登場する場面を放します。そして、コロナ禍に都市はどうあるべきか、都市のあり方を問います。



『東京路上博物誌』 藤森 照信+荒俣 宏 著 ●鹿島出版会 ●1987年  
『江戸から東京へ 大都市TOKYOはいかにしてつくられたか?』 津川 康雄 監修 ●実業之日本社 ●2011年

3Fグリーンゾーン【哲学・歴史・自然科学】の本を集めたゾーン ~2021/1/15(金)



過去、人は不思議なものに対し、神聖さや畏敬の念を抱いてきました。現代においてそれらは解き明かされ『現象』『過去の遺産』となっています。不思議なもの解き明かしてきた先人たちの歩みから、現代の様々な困難を乗り越える足掛かりを見つけ、また解き明かされたものに思いをはせてもらう展示です。



「宇宙」「自然」「文明」「人」にジャンルを分けて紹介しています。



解明に携わった学者・探検家のミニパネルも展示しています。

11月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「競争社会の光と影」(~11/13)

2F パープルゾーン 「コロナブルーを乗り越える」(~11/13) 三角台

2F エレベーターホール 「これからの書店・図書館・出版社・取次」(~2021/2/28)

3F ブルーゾーン 「私的表現」(~2021/2/12) NEW! 今や個人が自らの情報を発信することは当たり前ですが、あまり公にしない部分にこそ、その人自身が強く表れるのではないのでしょうか。この展示では作家の手紙やセルフポートレートといった、私的な表現方法の資料を集めています。

3F グリーンゾーン 「解き明かされる不思議 ~未知から人知へ~」(~2021/1/15)

3F エレベーターホール+ガラスケース 1階 特別展「荒俣宏の大大マンガラクタ館」関連図書展示 「荒俣宏が描いた帝都・東京」(~12/25) NEW!

荒俣宏の代表作『帝都物語』の世界観を日比谷の蔵書から読み解きます。登場人物のほか、作中で描かれている明治から昭和にかけて移り変わる帝都・東京に注目します。

おすすめします! MY FAVORITE 図書フロアスタッフの推薦本を紹介します。

『南方熊楠 人魚の話』

南方熊楠は博物誌のような人物だ。あらゆる分野に精通し、在野の研究者だったということもあるが、彼の研究と業績の全容はまだまだに把握しきれていないといわれている。その入門としてこちらを紹介する。短い文章を複数入れるという構成のため読みやすい。中には紀行文もあり、彼の人柄の一端に触れることもできる。南方熊楠とその周辺人物について簡単な説明とブックガイドが巻末にあるため、これからという方におすすめしたい。



南方熊楠 著 平凡社 2017年

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

区立図書館へ行こう!  
ライブラリークイズ&スタンプラリー  
LIBRARY QUIZ & STAMP RALLY

千代田区立図書館5館にまつわる問題に答えていただくクイズラリーを開催します。全館を巡って全問解答した方にはプレゼントを差し上げます! また、5館のうち、3館のスタンプを集めるスタンプラリーも同時開催。秋の図書館巡りをお楽しみください。

- 会期: 10月26日(月)~11月15日(日) ※図書館によって休館日が異なります。
- 参加費無料 ● 会場: 千代田区立図書館5館

千代田区立図書館へ行こう!  
ライブラリークイズ&スタンプラリー  
2020年10月26日(月)~11月15日(日)

▶▶▶館内では常時マスクの着用をお願いいたします。入館の際は、手指消毒・検温・入館票をご記入ください。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

特別展 荒俣宏の大大マンガラクタ館

「だれかに発見されないかぎり、ずっとゴミくず同然に埋もれてしまう」ガラクタこそを面白がる、という価値観を示した荒俣宏氏。その人生と好奇心の拡がりを、自身のコレクションや創作物などで紹介します。

開催中 → 12月16日(水)

※休館日: 11月16日(月) ●開室時間: 月曜~木曜10:00~19:00、金曜10:00~20:00、土曜10:00~19:00、日・祝10:00~17:00 ※入室は閉室の30分前まで ●会場: 日比谷図書文化館 1階特別展示室 ●観覧料: 一般300円、大学・高校生200円、千代田区民・中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳などをお持ちください。 ●主催: 千代田区立日比谷図書文化館 ●企画協力: 京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国際マンガ研究センター



↓18-19世紀の博物画(銅版手彩色)

18~19世紀の美しい博物画や荒俣氏による精緻な魚類観察日記などを紹介



荒俣少年が影響を受けたマンガや青年時代に描いたマンガ作品などを紹介



選りすぐりの逸品を紹介する、日比谷オリジナルのコーナー

怪奇文学大山脈 漫画と人生 函鑑の博物誌 アラマタ美術誌 奇っ怪紳士録 帝都物語 稀書自慢



展示 コーナー名はすべて荒俣宏氏の著作名



荒俣氏の名を世に知らしめた長編小説にして代表作「帝都物語」をテーマにしたコーナー



「奇っ怪紳士」のひとりである三田平凡寺(1876~1960)。御遺族からお預かりした資料の一部をお披露目

ピンナップガールのイラスト、大衆小説の挿絵などのアラマタコレクションを紹介



自ら挿絵を付けた翻訳や創作を載せた同人誌などを紹介

↑荒俣宏原作 高橋葉介作画「帝都物語」原画 © 高橋葉介 ↑三田平凡寺(1914年撮影) ↑ジョルジュ・バルビエ(George Barbier)「Fau Lido(リドにて)」『FALBALAS et FANFRELUCHES(装飾と装身具)』1922年

calendar 開館時間: 平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日

2020年11月							2020年12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
29	30												

access [都営地下鉄] ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分 [東京メトロ] ●丸ノ内線 ●日比谷線 ●霞ヶ関駅B2出口 徒歩3分 ●千代田線 ●千代田線「C4」出口 徒歩3分 JR「新橋駅」徒歩10分 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

